



SAP® Business OneにDB2 Universal Database™ Express Editionを組み込み 低コスト・短期導入で管理業務を一元化

株式会社コムカル(以下、コムカル)は、顧客企業の事業展開を支援するコンサルティング、情報技術サービス、アウトソーシング、インテグレーションサービスを提供している企業です。SAP社のサービスパートナーである同社では、自社の基幹業務システムにSAP Business Oneを2005年6月に導入。会計や営業をはじめ、外注費用や売り上げ、案件などの業務をSAP Business Oneにより一元管理化しました。また、データベース管理ソフトウェアとしてIBMのDB2 Universal Database Express Edition(以下、DB2 UDB Express)を組み合わせて採用。オートノミック(自己管理)機能により、運用管理の手間やコストを削減することが可能となりました。

お客様ニーズ

社員ごとに管理していたデータの一元管理化

SAP社のサービスパートナーであるコムカルは、SAP R/3®(mySAP™ ERP)などERPソリューション導入支援事業を数多く手がけてきています。しかし自社ではシステムを導入しておらず、社内業務の管理が一元化されていないという悩みがありました。

「これまで経理では国産の会計ソフトを使っていたほか、それ以外の部門ではMicrosoft® ExcelなどによりPCベースで社員ごとにデータを管理していました。そのため、どれが最新のデータなのかが見つけにくい、データ集計にも時間がかかるなど、さまざまな不具合が発生していました。そんなとき、日本IBMがSAP Business OneとDB2 UDB Expressを組み合わせて提供するというので、その第1号ユーザーとして導入を決定したのです」(株式会社コムカル ソリューション営業本部統括部長 坂井康弘氏)。

SAP Business Oneでは、財務管理や販売管理、

顧客管理などができるだけでなく、CRM(案件管理)も可能でこれらを一元化したかったコムカルのニーズに合致していました。しかも、コムカルではSAP社製品を熟知していたため、他社製ERPパッケージを検討することなくSAP Business Oneの導入を決めました。そして、小規模ながらも基幹システムとして導入するため、データベース管理ソフトにはセキュリティ性が高いDB2 UDB Expressの採用を決定したのです。

しかし社内で懸念されていた問題がなかったということではありません。「ロジスティック関連部分については問題はありませんでした。また、営業部門もERPパッケージの導入には異論がなかったのですが、問題は経理部門でした。それまで使っていた国産会計ソフトとは仕様ががらりと変わってしまうため、導入に際しての議論を1カ月近く費やしました」(坂井氏)

ソリューション

わずか2週間という短期間で導入

SAP Business One導入にあたっての議論が収束し導入の本決定がされたのは2005年3月半ばのこと。そして6月1日にはサービスインとなりました。「実際には5月中旬から会計データを入れて動かし始めたのですが、それまでの会計ソフトと概念自体がかなり違っているため、何度かやり直すということがありました。消費税の取り扱いの違い、プロジェクト単位での経費立て替え払いの考え方などがかなり違っていました」と坂井氏は話します。インターフェイスに関しては、表示される用語などは営業で使うような平易な言葉ですので、これまでMicrosoft Excelのようなコンシューマー向けソフトを使っていたユーザーでもすんなりと移行することができました。

「CRMの機能も入れたのですが、各案件の成長度が見られるのが良いですね。見積りを作って入れておくと、受注や、売り上げなどにもそのまま入

Overview

◆チャレンジ

- ・社員ごとに管理していたデータの一元化
- ・会計のグローバル化
- ・少ない人員でのシステム管理

◆ソリューション

- ・インダストリー：システム開発、ERP導入・アウトソーシング
- ・適用業務：業務管理全般
- ・ソフトウェア：SAP Business One、IBM DB2 Universal Database Express Edition
- ・ハードウェア：IBM eServer® xSeries® 205

◆効果

- ・案件の処理過程の透明化
- ・DB2のオートノミック機能による運用管理コストの削減
- ・稼働しながらの自社内カスタマイズ
- ・セキュリティ性が高いデータベースで安全なシステム環境構築を実現

れることができ簡単です。また、明細項目などが変わったとき、その都度入れ替えられるのも便利なところですよ」(坂井氏)

コムカルではSAP Business Oneの導入開始からサービスインまでの期間がわずか2週間でした。「通常は3~4週間はみておいたほうが良いかと思います。ただ、ユーザー側で勘定コードなどを用意していれば2週間で導入できるのではないのでしょうか。1年くらいかけて導入するSAP R/3 (mySAP ERP)と比べきわめて短期間ですむので、まさに中堅・小規模企業には最適なERPパッケージだと思いました」(坂井氏)

導入効果

案件の課程が一目瞭然と稼働しながらのカスタマイズも可能

現在、コムカルではSAP Business Oneを7ユーザーで使用しています。「まだまだすべての機能を使いこなせていないため、現在でもSAP Business Oneを本番稼働させながら検証をしています。通常のユーザーとは少し変わった使い方をしているとは思いますが、それくらい融通が効くパッケージだという証拠ですね。クリックひとつでどうにも変更できるので、日々更新作業をしている状態です」(坂井氏)

サービスインからまだ日は浅いのですが、果たして導入効果は現われているのでしょうか。「案件の課程が1つに見られることが現時点での一番のメリットだと感じています。また、外注費用の支払いがジョブに自動で入っていくことができるのもポイントが高いですね。ただし、経理担当者はERPをさわるのが初めてでただけに、仕分けが自動でされることや、作業をせずとも帳票がどんどん上がってくることなどに、まだ違和感があるようです」(坂井氏)

また、構成、チューニングなどを自動化するオートノミック(自己管理)機能で人力作業を軽減できるDB2 UDB Expressを組み込んでいるため、今後は運用管理コスト削減も期待されます。

なお、コムカルのシステム構成はPCサーバーとクライアントマシンだけです。「こんなにシンプルなシステム構成でもERPパッケージを導入できるという、弊社が良い見本になっていると思います。稼働しながら自社でカスタマイズできるというのも、中堅・小規模企業には適合しているERPパッケージといえるでしょう」(坂井氏)

将来展望

海外進出企業へのご提案

コムカルでは、自社の基幹業務システムとしてSAP Business Oneを稼働させることでスキルを身につけ、他社へご提案する足がかりにすることを考えています。「弊社のお客様には貿易業務を扱う企業が数多くございます。そこで、国内企業が海外進出の際のERP導入のお手伝いできればと考えています。実際に「国内ではSAP R/3 (mySAP ERP)を導入していますが、海外拠点はSAP Business Oneで」という話もきています。またその逆に、海外企業が日本に進出する際に、SAP Business Oneを導入したいという話もあります」(坂井氏)

また、大都市圏以外の中堅・小規模企業でもグローバルな取引をしている企業は多いといえます。「そういった企業にとっては、日本の商習慣にのっとった国産ERPパッケージよりも外貨取引や国際標準に対応したSAP Business Oneが適しているでしょう」(坂井氏)

社内には8カ国語に対応した人材をかかえ、ERPと貿易という専門性を持ったコムカル。グローバルのお客様のシステム構築をご支援できるIBMの強みとともに、海外進出企業へのご提案パートナーとして活躍が期待されています。

"こんなにシンプルなシステム構成でもERPパッケージを導入できるという、弊社が良い見本になっていると思います。稼働しながら自社でカスタマイズできるというのも、中堅・小規模企業には適合しているERPパッケージといえるでしょう"

株式会社コムカル ソリューション営業本部 統括部長
坂井 康弘 氏



日本アイビーエム株式会社

〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12
08-05 Printed in Japan
<http://www.ibm.com/jp/>

IBM, DB2, @server, xSeriesは、IBM Corporationの商標。
MicrosoftはMicrosoft Corporationの米国およびその他の国における商標。
他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。
このカタログの情報は2005年8月現在のものです。
製品、サービス等詳細については、弊社もしくはIBMビジネスパートナーの営業担当員にご相談ください。

●当カタログに記載のデータは、すべての場合において同等の効果を得られることを意味するものではありません。効果はお客様の環境、その他の要因によって異なります。●掲載されている製品・サービスはIBMがビジネスを行っているすべての国・地域でご提供可能なわけではありません。また国・地域によってはご提供条件が異なる場合がございます。詳細は各国IBMにお問い合わせください。●掲載された情報は2005年8月現在のものです。事前の予告なく変更する場合があります。
© Copyright IBM Corporation 2005
All rights reserved.



SAPジャパン株式会社

本社 〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目7番2号
東京サンケイビル
<http://www.sap.com/japan/>

© 2005 SAP AG
無断複写・転載禁止。この文書で言及されている、SAPおよびSAPロゴ、R/3, mySAP Business Suite, mySAP All-in-One, mySAP, xApps, SAP NetWeaver, SAP Business Oneおよびその他のSAP製品およびサービス、およびこれらに関連するロゴは、ドイツおよびその他複数の国におけるSAP AG社の商標または登録商標です。その他、言及されたすべての製品およびサービスは、関連する各企業の商標です。各国別に製品仕様が異なる場合があります。



G000-0000-00